

令和5年度 横須賀市立 森崎小学校 学校重点プラン兼学校評価報告書

1. 学校重点プラン・自己評価の結果

学校教育目標 自分を育てる子 『きれいな学校でも(環境も、心も、関係も)』
--

	重点1	重点2	重点3	学校独自の重点
重点目標 (目標の子どもの姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで学ぶ子 	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしくたくましい子 ・健康的な生活習慣に対する意識をもち行動する子 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰にでも気持ちのよい挨拶ができる子 ・相手を思いやる気持ちを持ち、相手の立場に立った考え方ができる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・違いを認め合い、支え合いを大切にする子 ・規則の大切さを理解し、まわりの人を思いやる子



具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回、モジュール学習を実施する。1年を通して育てたい力を焦点化して取り組む。(国語・算数) ・朝読書タイムの充実化 ・図書館もしくは教室で図書を活用した授業を行う。 ・自分の考えを言い合えるクラスの雰囲気づくりを心掛け、意見交流を取り入れた授業展開を工夫する。 ・校内研究で取り組んでいる一人1台端末の活用を通して、自分の思いを生き生きと表現できる子どもを育成するための手立てを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事・睡眠・運動の大切さや月ごとの生活目標を意識して行動させる。 ・児童が体を動かしたくなる環境整備と行事の計画をする。 ・運動が苦手な児童への支援や手だての充実。 ・食育の一層の推進と、家庭への啓発と栄養士による巡回食育指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会や代表委員会及び各種委員会での全校児童への挨拶運動の実施 ・道徳の時間で「主として集団や社会とのかかわりに関することについて重点的に扱い、各自の振り返りの時間をしっかりと取る。 ・特別活動や総合的な学習の時間や行事等、様々な活動において声かけや認め合いをすることで次につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活、授業の中でグループ活動、ペア活動の時間をつくる。 ・日々の生活や授業、特別活動を充実させ、認め合い高め合う関係を築く。 ・道徳の授業で「規則の尊重」「親切、思いやり」について重点的に行い、決まりを守り、節度ある行動をとりながらも、周りの人に思いやりの心を持った子に育てる。
検証の時期と方法	<p>【実現状況を測る際の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度の学習状況調査を活用する。 ・年間10回程度の図書を活用した授業を目指す。 ・意見交流を取り入れた授業展開について考察する。 <p>【検証方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を通して子供の姿を見とり、ブロック、全体で実態の分 	<p>【実現状況を測る際の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝会の生活目標等を掲示して意識して行動させるように取り組んでいる。 ・学年ごとに使用できるコートを決め、安全面を考慮して運動できるようにしている。中休み・昼休みに放送委員が、割り当てを全校児童に知らせている。また、教師が分担して外遊びをし <p>【検証方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の授業を通して子どもの 	<p>【実現状況を測る際の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内の活動だけでなく、校外学習の際なども相手を思いやる行動をとっているか観察する。 ・登下校の際、見守り隊の方たちに進んで心のこもった挨拶をしているか見守り隊の方に様子を聞いたり、職員が登校中の児童観察をしたりする。 <p>【検証方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の授業を通して子どもの 	<p>【実現状況を測る際の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活や授業での子どもたちの姿、様子から考察する。 ・児童指導月別反省から考察する。 ・学校評価アンケート(職員用)「ねらいを明確にした授業を行い、学力向上に努めている。」「命や人権、他者を思いやることの大切さや社会のルールを守る態度を育てようとしている。」「他者を認め合える学級づくりに努めている。」「いじめのない学校づくりや、いじめに関する指導を行っている。」のA「そう思う」の割合 <p>【検証方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の姿・様子 ・児童指導月別反省

	<p>析・共有化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任や学校司書によると見聞かせや、図書館の活用状況から判断する。 	<p>るように指導をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士の勤務日には、各クラスを回り児童の食事の様子を見て苦手なものも食べるように働きかけている。 <p>【検証方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の児童支援会議で、児童の様子を共有し検証する。 ・学校評価アンケートにより達成状況を判断する。 	<p>姿を見取っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートの結果から判断する。 ・PTAの校外委員からの報告書を参考に判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケート（職員用）
検証結果・成果と課題	<p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モジュール学習、朝読書では、短時間に集中して取り組むことができた。 ・基礎・基本の繰り返しを徹底した。 ・学び合いの場面を多く設定した。 ・一人1台端末を使って学びの共有を行った。 <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組める場面が増えてきた。 ・友だちの意見を聞いて自分の学びにつなげることができるようになってきた。 ・一人1台端末を使うことによって、学びの共有を行い進んで学ぼうとする意欲の向上が見られた。 ・読解力、想像力、応用力が弱い。 ・記述式の問いの回答率が低い。 	<p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童指導全体会、児童指導部会などを通して、継続的な児童の実態把握と定期的な情報共有を行った。 ・学校生活アンケートなどを通し、様々な児童の思いを理解し、対応するように努めた。 ・委員会活動などの取り組みにおいて、クラス単位で体を動かす機会を設けた。 ・放送委員により休み時間の学年の校庭の割り当ての放送を行った。 ・栄養指導について栄養士に相談し、給食中に児童に関わった。 <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全を考えて、校庭にて児童は場所を選んで遊んでいる。 ・朝食を食べる習慣がない児童、深夜までスマホ・ゲームなどに熱中し、睡眠時間が十分でない児童がいる。学習に集中できず、友人間のトラブルにつながっている。 ・健康な生活習慣についての知識は持っているが、それを自分の生活の中で実践していくことが困難な児童がいる。 	<p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員による休み時間の見守りや挨拶に取り組むことができた。 <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部から来校していただく機会が多くなったことにより挨拶する機会が増え、進んで挨拶をすることができていた。 ・芸術鑑賞会、どんぐりお話の会、BMXなどの外部の方へお礼を伝えたり、感謝の気持ちを文章で表すことができた。 	<p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活、授業の中でグループ活動、ペア活動の時間を作ってきた。 ・挨拶を徹底してきた。 <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者意識の高まりが感じられ、挨拶をしたり、相手を理解しようと努めたり、困っている子に寄り添って行動したりする子が増えた。 ・掃除や行事を通して下級生と関わる中で、優しく接する態度や学校全体のことを意識して行動する力が育ってきた。 ・一人ひとりが実行委員として活動することで、責任をもって行動することができた。
課題解決・次年度の	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回モジュール学習を実施する。(読解の基礎となる漢字、語句の学習、基礎計算など) ・朝読書タイムの充実(読み聞かせ、おもしろ読書を取り入れる) ・単元の指導計画の中で自分の考えを記述で表す取り組みを 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級だより、保健だより、給食だよりで食事と睡眠の重要性を引き続き発信していく。教室でも折に触れ話題にし、児童自身が実際に行動できるように取り組む。 ・栄養士と連携し、食教育を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の児童で、まだ相手を思いやる気持ちが育っていないため、次年度も引き続き道徳の授業や特別活動の時間を通じて互いを認め合えるよう指導していく。 ・学校評価アンケートから進んで挨拶や返事ができますかという項目で進んで挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち物や身だしなみなどから規範意識が低いと思われる一部の児童がいる。次年度も指導していきたい。 ・自分の思いを正しく伝えたり、相手の気持ちを考えようとしたりする意識や態度に欠ける児童がいる。道徳の授業などお互いを理解し合える

取組	増やす。	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活習慣を身につけ、心身ともにたくましく生きる力を身につけさせたい。 学校におけるすべての活動を通して、自分の周囲も大切にできる児童を育てたい。 	<p>ができる児童が88%にも及んでいるので、次年度も引き続き指導していきたい。</p>	<p>よう指導していきたい。</p>
----	------	--	--	--------------------



2. 学校関係者評価の結果

<ul style="list-style-type: none"> 評価内容（次年度への方向性も含む） 学校教育目標の見直しや反省を行うのは素晴らしい。 学校教育目標を意識しながら、日々の教育に携わる教員の姿勢が素晴らしい。 森崎小児童の強み弱みについては、大人も全く同じ。大人も努力する意欲を持たなくては。 保護者の学校への意識や姿勢が昔と変わってきていて、指導しづらいところもあるだろうが、大事なことは筋を通して伝えていくべき。 いじめについてナーバスになりすぎると、困難にぶち当たったときの耐性が育たないのではないかという危惧もある。難しい時代だ。 学校評価について、たとえ数字が低くても見方や見る側面を変えれば意外にOKということもある。肯定的に捉えよう。 手を挙げて発表することだけが前向きだとする捉えが変化してきている。 例えば読書について、紙の書籍を読むことだけが読書か、電子書籍を加えたら読書離れは減るかもしれない。 ニュースなどで災害の様子を見て、子どもたちも防災を自分事として考えられるようになってきている。 次年度から通信簿の前期所見をなくすなど、発展的に働き方改革を進めていくのはいいことだ。
--

【学校関係者評価を行った時期と回数】	【学校関係者評価の構成員等】	
* 実施月と回数をご記入ください。	組織（委員会）名	評価者（委員）の構成（学校との関係性、所属）
2月（1回）	学校運営協議会	学識経験者 地域青少年育成委員 元PTA会長

～結果の公表について～

時期	【公表の対象】 方法	その他
● 2月 ● 次年度 2月	【保護者】【学校運営協議会】学校からのたより	